

【産業機器】

種菌培地の液体化と液体種菌の接種によるきのこの人工栽培

登録番号19 - 141

〔技術・製品の概要と特徴〕

きのこの人工栽培に必要な種菌は従来、おが屑などを原料とした固体培地をベースに作られてきたが、製造日数がかかり、雑菌の混入による栽培不振やその回復に長期間を要するなどの問題があった。この問題を解決するため小型で安価な種菌の培養槽の開発、種菌の培養期間の短縮化を実現、併せて全自動液体高速接種機の開発、液体培地成分の確立と種菌コストの低減化などにより、きのこの種菌培地の液体化および液体種菌の接種による人工栽培技術を確立。



〔用途〕

えのき茸、マイタケ、シメジ、エリンギ、椎茸などの液体種菌を用いた人工栽培きのこのきを原料とする健康食品などのきのこ菌系の製造醸造用

〔希望する技術移転の形態・相手先・地域〕

特許実施権供与（特許権確定後）共同研究開発生産委託、応用開発委託
企業規模は問わない
国内・外いずれでもよい

〔開発段階〕

製造・販売実績（有）
関連特許（出願中）

〔提供可能資料など〕

技術資料